

「はなやまボランティアスクールスキルアップ研修」兼 「自然体験活動指導者（NEAL）リーダー研修会」

1. 趣旨

全国28施設の国立青少年教育施設でボランティア活動が行える「法人ボランティア養成カリキュラム」において、ボランティア活動に必要な理論と技術についての実践的な研修を行い、ボランティア活動に積極的に取り組む意欲を高める。また、希望者はさらにスキルアップの機会を持ち、楽しく安全に活動を指導するために自然体験活動指導者（NEAL）リーダーの資格を取得できる。

2. 事業の概要

- (1) 期日 1回目：平成29年5月27日（土）～5月28日（日）【1泊2日】
2回目：平成29年6月24日（土）～6月25日（日）【1泊2日】

(2) 参加者

- ①参加対象 自然体験活動指導者（NEAL）に興味のある18歳以上の方（一般成人・学生・高校生）15名
②参加人数 53名（男22名 女31名）
③NEAL登録数 52名（21名 女31名）

【参加者の所属先】

- ・オーエンス泉岳自然ふれあい館・神室少年自然の家
- ・宮城学院女子大学 ・宮城教育大学 ・宮城県古川黎明高等学校 ・東北学院大学
- ・尚絅学院大学 ・仙台高等専門学校 ・仙台大学 ・仙台白百合女子大学 ・東京農業大学
- ・東北生活文化大学高等学校 ・東北福祉大学 ・文教大学

3. 企画運営のポイント

- ①自然体験活動指導者（NEAL）リーダーへの理解を促し参加者を獲得するため4月に大学へ訪問し、講義の一部を利用してボランティアスクールと合わせて広報活動を実施した。
②ボランティアカリキュラムより実践的な実技と講義内容にすることで、ボランティアのスキルアップを含んで実施した。

4. 日程

	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	
5/27 (土)				受付 開講式	□青少年教育施設におけるボランティア活動 (1h) 9:50～10:50	□青少年教育 ■青少年教育における体験活動 (1.5h) 11:00～12:30	屋食・休憩 12:30～13:30	□ボランティア活動の意義 (1.5h) 13:30～15:00		□青少年施設の現状と運営 (1h) 15:10～16:10			□ボランティア活動の技術 ■自然体験活動の技術 花山プログラム体験 野外炊事 (4h) 16:50～20:50			入浴・就寝
5/28 (日)	起床・清掃	朝のつどい	朝食・部屋点検・活動準備	□安全管理 ■自然体験活動の安全管理 救命救急法 (3h) 9:00～12:00		屋食・休憩 12:00～13:00	説明・登録制度について (1h) 13:00～14:00	登録手続き	閉講式							
6/24 (土)				受付 (0ガイダンス)	■対象者理解 (1.5h) 10:30～12:00	屋食・休憩 12:00～13:00	■自然体験の技術 (2h) 13:00～15:00			■自然体験の指導 (1.5h) 15:15～16:45		入浴等		夕食兼情報交換会		就寝
6/25 (日)	起床・清掃	朝のつどい	朝食・部屋点検・活動準備	■自然体験活動の特質 (3h) 9:00～12:00	片付け・移動	屋食・休憩 12:30～13:30	(0ガイダンス)	■認定試験	閉講式							

5. 主な活動内容



①講義「対象者理解」



②講義「自然体験活動の技術」



③講義「自然体験活動の特質」



④集合写真

6. 成果と課題

(1) 参加者アンケート結果

満足：84% やや満足：14% やや不満：1% 不満：0%

(2) 参加者の声

- ・理論だけ、また理論を知らずに実践だけと言うのは、実際の場面で人のためにならないと思った。今の段階である程度理解できて良かった。
- ・最初は沢活動に抵抗があったが、仲間と同じ時間を過ごすことで楽しかったり、自然の大切さに気付いたりすることができた。

(3) 成果

- ①4月に大学へ訪問した広報活動（スライドや先輩ボランティアの体験談、具体的な講義内容）が実を結び、定員15名のところ、53名の多くの参加者を獲得する事ができた。
- ②座学と実習を交互に行うことで、理論と実践の学びが深まり、満足度が高い評価を得ることができた。

(4) 課題

- ①対象者理解の講義では当初、発達心理学を専門とする越中准教授（所属：宮城教育大学）に依頼（3月17日）したが、すでに予定が入っていたため松村所長に講義をお願いする事となった。その為、次年度の計画が出来た段階で県内の大学の講師を決定し、早い時期（1月～2月の間）に講師依頼を行う必要がある。
- ②自然体験活動指導者（NEAL）リーダーの活用方法を所内で議論し、次年度以降の教育事業で自然体験活動指導者（NEAL）リーダーが活躍できる仕組みが構築できれば、更により良い事業になると考える。

担当：事業推進係長 佐藤 英樹